

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 農地整備課 国営事業対策室長 足立和彦 電話番号 0852-22-6780

事務事業の名称	淡水化代替水源対策事業	
目的	(1) 対象	斐伊川沿岸地区農業用水再編対策事業受益農家
	(2) 意図	農業用水を早期に安定供給し、農業生産力の向上を図る
事業概要	・淡水化に替わる農業用水を早期に安定供給するため、地域の実情を踏まえながら関係農家及び関係機関と協議・調整を行い、国営斐伊川沿岸地区農業用水再編対策事業の進捗を図る。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	斐伊川沿岸地区農業用水再編対策事業により農業用水が安定的に供給される農地面積	目標値	3,728.0				ha
	式・定義	農業用水が安定的に供給される累計受益面積÷総受益面積 (3728ha)	実績値	3,180.0				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	110,768	70,670
うち一般財源 (千円)	28,568	23,870

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

国営斐伊川沿岸農業用水再編対策事業は、地元関係者の意向を踏まえながら事業実施中である。（平成27年度未進捗率96.9%）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

国営斐伊川沿岸地区農業用水再編対策事業は、事業完了に必要な予算が確保され、工事も計画どおり施工されていることから、今年度に完了する見込みである。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

施設管理予定者への譲与及び管理委託手続きにあたり、関係機関との調整中の農業水利施設がある。

②困っている状況が発生している「原因」

農業水利施設の使用及び管理方法等について、関係機関相互の合意形成が十分に図られていない。

③原因を解消するための「課題」

早期に合意形成が図られるよう、協議・調整を進める必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

国や市・土地改良区・河川管理者等関係機関の意向を把握し、協議調整を鋭意進めて、譲与及び管理委託手続きを早期に完了させる。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）